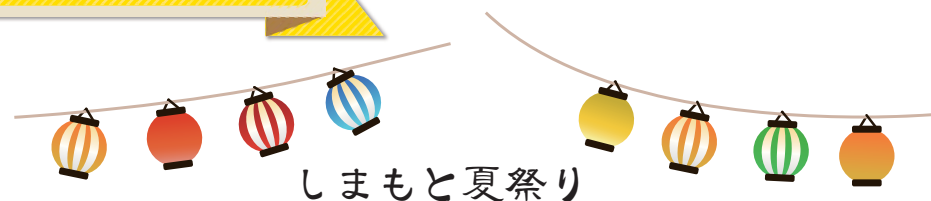


病院だより



今年も「しまもと夏祭り」が水無瀬川緑地公園でおこなわれました。

当日は天候不順で突風が吹くなどアクシデントもあり、バタバタとした場面もありましたが、お祭りが始まる頃には天候も回復してたくさんの来場者で賑わいました。今年も清仁会のスタッフもお手伝いをさせていただき、綿菓子、ガラガラ抽選、UFO風船の屋台の前に並ぶ子どもたちが笑顔で喜んでもらえるようにと、暑さに負けずに頑張りました。毎年参加しているためか、スタッフの作る甘い綿菓子は、さながら職人芸のように感じた今年の夏祭りでした。



病院でも夏祭りを8月24日に開催しました。入院中の患者さん、ご家族にも楽しいひとときを過ごしてもらおうと今年はチーム対抗の風船バレーを行ないました。リハビリ室内に患者さん、スタッフの歓声に包まれた時間となりました。またお祭りらしく手づくりのおやつ(水羊羹、プリン)に皆さん、舌鼓を打っておられました。



医療法人 清仁会 水無瀬病院

- SAKURA -
— 広報誌 —

さくら

Contents

ドクターズコラム
地域連携室の取り組み
病院だより
編集後記
診療担当医表

編集後記



この夏はリオ・オリンピックが開催され、終わってみれば日本はメダル獲得数41個の大活躍でした。これは日本史上最多であり、今大会では世界第6位の快挙だそうです。身体的に決して有利とは言えないなか、懸命に勝利に向って突き進む姿にテレビを通して釘づけの毎日でした。イチローの3000本安打にしてもそうですが、この活躍と大記録への道は、日々の「たゆまぬ努力の精神」が実を結んだ結果ではないでしょうか。



4年後、いよいよ東京オリンピックが開催されます。どんな感動と勇気を見せてくれるのでしょうか？今から楽しみです!!

【広報委員会 岩永】



発行元
医療法人 清仁会 水無瀬病院
広報委員会
TEL:075(962)5151
<http://minasehp.jp/>

私たちは、「安心」の二文字をモットーに、
地域社会の発展と皆様の健康を守るために
よりよい医療・福祉サービスを提供します。

ドクターズコラム



眼科
富永 美果

こんにちは、眼科を担当しています富永です。
まだまだ暑い日が続いていますが、少しずつ秋の気配が
感じられるようになりずいぶん過ごしやすくなりました。
そんな気持ちのいい天気の日にはお気に入りの場所へ。
澄んだ空気を感じながら小高い丘から自分の住んでいる街を
眺めていると、日々の忙しさを忘れることのできる大切な時間と
なります。
皆さんも心落ち着く場所を見つけてみてはどうでしょうか？



白内障のお話

話は変わりますが、最近「目がかすむ」「光がまぶしい」「眼鏡が合わなくなった」「向こうからくる人の顔が
わかりにくくなった」「カレンダーやテレビの文字がにじんで見える」といった症状はありませんか？
それは、もしかしたら「白内障」かもしれません。

白内障は目の中でカメラのレンズのような役割をしている水晶体が濁ってくる病気で、
老眼、白髪、顔のしわと同じように、誰にでも起こりうる加齢現象の一つです。個人差が
ありますが、早い人では40歳代から、60歳代で7～8割、80歳代ではほぼ全員に白内障があります。



主な原因は加齢ですが、先天性のものや、他の目の病気に合併して起こるもの、外傷によるもの、糖尿病やアトピー
性皮膚炎、ステロイド剤などの薬剤、放射線が原因となることもあります。

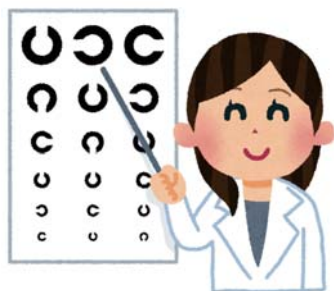
白内障の初期には薬によって進行を遅らせられる場合もありますが、完全に治すことはできません。薬を使用しても
水晶体が透明に戻るわけではなく、あくまで白内障の進行を抑えることが目的です。進行して日常生活に支障が
みられる場合には、手術が行われます。最近の手術は約3mmの傷口から水晶体を超音波で粉碎して取り除き、
代わりに人工水晶体である眼内レンズを挿入する方法が一般的ですが、進行した場合は手術が難しく、ほかの
手術方法が選択されることもあります。

手術時間は局所麻酔で約30分です。手術中の痛みはほとんどありません。70歳～80歳代で手術を受けられる方が
多いですが、中には90歳代の方もいらっしゃいます。白内障手術は世界で最も手術件数が多いとも言われ、日本でも
年間約100万件の手術が行われているそうです。多くの患者さんが安心して受けることができる手術の1つです。

ただ、患者さんによっては手術を受けても眼底や視神経に別の病気が隠れている場合は、手術がうまくいっても
視力が思うように回復しないことがあり、手術の合併症によって重篤な視力障害が生じる場合もあります。事前に
眼科医とよく相談し、しっかりと説明を受けてください。

平均寿命が延び、白内障は目の病気の中で最もありふれたものの一つとなりました。高齢者が現役で活躍することの
多い現代社会で、白内障による視力障害はさまざまなトラブルの原因になります。白内障手術は年々進歩しており、
安全な手術となったばかりでなく、以前にも増して早期の視力回復、社会復帰が可能となりました。白内障が進行すると
他の病気を併発する可能性もあります。

気になる症状がある方は気軽に眼科を受診してみてください。



地域連携室の取り組み

こんにちは。水無瀬病院 地域連携室です。突然ですが皆さんは地域連携室の業務内容をご存じでしょうか？

病院に行かれた時に「相談窓口」という案内を見かけられたことはないですか？
患者さんやご家族が窓口を訪ねてこられますが内容はさまざまです。今回は
件数の多い相談内容を紹介させていただきます。



①「介護保険のこと」 なにから始めたらいいかわからない・・・

- ・制度の説明 介護保険申請の代行。
- ・入院から退院後の生活に向けたケアマネジャーやサービスとの調整。
- ・その他、社会福祉制度、資源の紹介など。

②「外来通院のこと」 水無瀬病院にかかりたい。他の病院・診療所へかかりたい。

- ・受診の予約（当院、他の病院、診療所への予約調整、持参書類の準備など）
- ・ご希望の病院・診療所の紹介（お近くの医療機関を患者さまの条件に合わせてご紹介します）
- ・検査の必要がある場合、検査予約など

③「入院時のこと」 水無瀬病院に入院したい。他の病院に転院したい。

- ・ご希望の病院の紹介、申込み、病院見学の問い合わせなど（お近くの病院をピックアップしてご紹介します）
- ・入院 転院の調整、書類の準備 医師への相談など

④「退院後のこと」 退院後の生活について。

- ・退院先（自宅・病院・施設など）ご本人、ご家族のご要望に応じた場所の選定のご相談。
- ・施設等への問い合わせ、申込み、必要書類の準備。
- ・介護保険の申請等
- ・ケアマネジャーやサービス事業所の選定、紹介など（在宅の場合）

このような業務を日々おこなっておりますが、この他にも医療や介護の分野を問わず様々なご相談をお受けして
おりますのでいつでも遠慮なくお声掛け下さい。

これからも「気軽に頼れる地域連携室」を目指し、患者さん、ご家族、地域の方々に安心して生活を送っていただけ
るよう、日々努力をして参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



地域連携室 一同